



Mattias Nauck教授、Y.M. Dennis Lo教授、Rainer Schuster氏(左から)

生化学分析研究賞

香港中文大学、Li Ka Shing健康科学研究所所長であるY. M. Dennis Lo教授に、生化学分析研究賞が授与されました。この賞はドイツ臨床化学・医学検査協会(DGKL)が、二年毎に贈与しているものです。(DGKL : German Society for Clinical Chemistry and Laboratory Medicine)

Lo教授の分子遺伝学および遺伝研究診断分野の画期的な研究が受賞につながりました。遡ること1997年、妊娠中の女性の血液に胎児のDNAを特定して以来、リキッドバイオプシー（液体生検）分野のパイオニアとして活躍されています。教授の研究は、とりわけ無細胞DNA分析を基礎とした腫瘍・出生前診断に注がれてきました。遺伝性の腫瘍成長の早期追跡、母親の血液から判断する胎児のトリソミーの非侵襲的診断が可能となります。

DGKL理事長であるMatthias Nauck教授と当社の営業・研究・開発担当役員であるReiner Schuster氏が総会のセレモニーで賞を授与しました。

総会でのSchuster氏のスピーチは、法で定められた「科学的研究の自由と主体性」、「より良い社会への教育」に焦点をあてたものです。

「崇高な目標を達成するには、基本条件の整備が、政治面だけではなく、産業界においても重要な課題で、この賞に対して当社がスポンサーとして、関わる事ができたことは非常に名誉である。」と強調しました。また、Lo教授の革新的な業績は診断学における持続的な発展を導いたと、SARSTEDT社を代表して最大の敬意を表すると述べました。

今年度の年次総会は#moderndenken (think modern)をテーマに2019年9月25日～28日にマグデブルグで開催されました。最新の健康政策、医学検査診断が総会の焦点になった他、オーダーメイド医療分野における画期的なプロセス、新しいバイオマーカー検査、医学検査のデジタル化ソリューションなども紹介されました。

研究賞は、1986年に科学的研究に対する功績を称えるため創設されたものです。当社は2008年以降、DGKLのスポンサーとして、過去6回研究賞の賞金、50,000ユーロを支援しています。